

予算案記者発表 質疑要旨

日時	令和2年2月4日（月） 午後1時30分～2時30分
出席者	<p>区長、副区長（2名）、教育長</p> <p>政策経営部長、総務部長、危機管理監、施設整備担当部長、区民部長、文化商工部長、環境清掃部長、保健福祉部長、健康担当部長、池袋保健所長、子ども家庭部長、都市整備部長、地域まちづくり担当部長、建築担当部長、土木担当部長、教育部長、企画課長、財政課長、文化観光課長、学習・スポーツ課長、総合高齢社会対策推進室長、公園計画特命担当課長、学務課長</p> <p>（株）創発としま、（株）豊島新聞社、（株）都政新報、池袋テレビ（株）、としまテレビ、建通新聞社、新宿区新聞、日刊建設工業新聞社、日刊建設産業新聞社、日刊建設通信新聞社、日刊工業新聞、びいーゆ、朝日新聞社、東京新聞、日本経済新聞、毎日新聞、読売新聞社（17社）</p>
司会	広報課長

区長ほか	予算案について説明
質疑応答	
記者	東京オリンピック・パラリンピックの開催にあわせた豊島区のイベントはあるか。
区長	池袋西口公園「GLOBAL RING THEATRE」で大会期間中30日間、ライブサイトを実施する。駅前に位置し人が集まりやすいことから警備の面で懸念の声もあるが、区民の方にボランティアを呼び掛ける等、連携して課題の解決にあたっていきたい。
記者	「としまみどりの防災公園」は東京国際大学と隣接するとのことだが、帰宅困難者対策として当該大学との連携は考えているか。また、公園内にテントを張る予定はあるか。
危機管理監	東京国際大学との連携については今後も検討を重ねていくが、現段階では数千人規模の帰宅困難者の受け入れと3日分の水と食糧の備蓄を想定している。また、当公園は区内35か所の救援センターへの物資の配分を行う場所として想定している。よって、物資を保管するテントの設置は考えているが、帰宅困難者用のテントの設置は計画していない。
区長	トイレも非常用ではなく固定のものを数多く設置する予定だ。大規模な帰宅困難者にも対応できるよう、設備を充実させる。
記者	これまで「池袋アニメタウンフェスティバル」やトキワ荘への寄付金等でマンガ・アニメ文化を軸に区を盛り上げてきたわけだが、まずマンガ・アニメ文化に対する区長の想いをお聞きしたい。また、施設を今後どのように運営してゆくか。
区長	「東アジア文化都市2019としま」の看板として、区のマンガ・アニメ文化を推進してきた。マンガやアニメは世界に誇れる文化であると実

	<p>感している。そして、3月にはマンガの原点である「トキワ荘マンガミュージアム」がいよいよオープンを迎える。区内外の皆様からいただいた寄付は、建設費のほかに、当該施設を活かした地域周辺のまちづくりに充てる。人を呼び込み賑わいを創出し、面的なまちづくりを推進していく。施設の完成はゴールではなく、文化を活用したまちづくりのスタートだと捉えている。</p>
記者	<p>前々より、区では東京メトロ副都心線東池袋駅の建設について言及していたが、現在ではどのような状況か。</p>
区長	<p>現在でも必要であるという考えは変わっていない。乗降客数の増加や再開発の状況等を鑑みながら、協議中である。</p>
記者	<p>池袋駅の流れを池袋駅東西連絡通路（東西デッキ）の整備に関して、どのような見通しか。</p>
呉副区長	<p>池袋駅から人がまちに繰り出し回遊し、賑わいを創出することに向けて本区はまちづくりを進めてきた。そのような施策を後押しする形で、周辺事業者と連携し東西デッキの整備を推進していく。</p>
都市整備部長	<p>池袋駅の南側に位置する「ダイヤゲート池袋」付近のデッキ等を含め、周辺のまちづくり事業と連動させつつ、整備を進めることが必要だ。現時点での周辺の開発状況を鑑みて、北側デッキの整備が先んじて進みつつある。</p>
記者	<p>高齢者向け「パワーアシストスーツ」等のロボット技術の活用とはどのようなものか。また、全国初とはどの点か。</p>
総合高齢社会対策推進室長	<p>パワーアシストスーツ自体は市販されており、民間企業で力作業をする際に使われているが、これを高齢者の就労促進に活用するのは全国初の試みである。市販のものは高齢者向けではないので、大学、企業、シルバー人材センター等と連携し、高齢者が日常的に気軽に使える製品を作っていきたい。</p>
記者	<p>「埋葬費用や永代供養料等の低所得者への補助の実施」とあるが、当施策が実施される背景にどのような課題があったか。</p>
総合高齢社会対策推進室長	<p>多くの高齢者にとってお墓は深刻な問題である。特に一人暮らし高齢者の割合が高い豊島区としては、老後の不安の解消は大変大きな課題であるので、他自治体に先駆けて実施することとした。</p>
記者	<p>「トキワ荘マンガミュージアム」はふるさと納税として寄附を受け付けていたが、今後独自のふるさと納税を設置する予定はあるか。</p>
区長	<p>今回の「トキワ荘マンガミュージアム」におけるふるさと納税を活用した寄附は、今後もトキワ荘周辺のまちづくりに活用するものとして、存続を予定している。また、豊島区独自の魅力づくりに活用していけるようなふるさと納税制度の利用も考えていきたい。</p>
記者	<p>補足として、ふるさと納税制度を活かし、金銭ではなく楽器の寄附を受け付ける。</p>
区長	<p>寄附の受入れ先は学校である。文化都市として、子どもたちが音楽に</p>

	<p>触れる機会をより充実したものにしていただきたいという思いがある。しっかりと査定し、金額を税額に換算する。ふるさと納税は、返礼品ありきではなく、各自治体の特色あるものを評価していただくことが本旨であると考えている。</p>
--	---